

ぼくの元気をまもる水とう

金武小 二年一組 矢野 京太郎

「水とうも、た？」

と、家を出るとき、お母さんがまい日、ぼくに
よびかけます。

「もってるよ！」

と、こたえて、水とうをわすれていないか、
かくいんしてから出かけます。ね、中しよう
にならないようにするためです。

ぼくは、ソフトボールをしています。たく

さんのせみがないで、太ようがキラキラかが
やいている夏のれんしゅうは、とてもあつい
です。ちよつとはし、ただけで、サウナに入
つたみたいにあせが出ます。だから、ね、中
しようにならないように、気をつけているこ
とがあります。

まず、水ぶんをこまめにとることで、休
けいじかんには、のどがかわいていなくても、
水とうの水をのむようにしています。

つぎに、すいみんをまい日し、かりとって

います。だから、つかれがなくなり、つぎの
日も元気になります。

そして、ごはんをたくさん食べます。おじ
いちゃんとおばあちゃんが、たおこめと
やさいは、新せんで、あまみがあつておいし
いです。本とうにおいしいです。だから、た
くさん食べられます。ぼくがすきなおにぎり
は、しおをつかっているので、ねっ中しよう
よぼうにもなります。

ねっ中しように気をつけながら、元気にソ
フトボールができるよ、れんしゅうがたのし
いです。これからも、今しているねっ中しよ
うたいさくをつづけたいです。

今日もぼくは、水とうをもつていきます！